


2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	実施日	2021 年 5 月、6 月 6 日、10 月 6 日、10 月 28 日、11 月 1 日
代表者	鈴木 勝行	活動場所	川越市、狭山市、入間市、坂戸市、日高市、飯能市、鶴ヶ島市、毛呂山町、ときがわ町、嵐山町、東秩父村、川島町（入間川、赤間川入間川第 2 用水、高麗川、葛川、都幾川、槻川、瀬戸川、唐沢川、谷川、一ト市川、雀川、田黒川、小畔川、南小畔川、北小畔川、霞川、東大谷川、西大谷川、飯盛川）
タイトル	入間川一斉水質調査及びマップ作成		
活動目的	多くの方々に身近な河川に関心を持ってもらうため、当会設立から水質調査を行っている。水質調査の結果をマップ化して、荒川流域の環境団体、行政各機関、学校等に広く配布するとともにインターネット上で公開し、河川環境改善の啓発を行う。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 23 団体、2 大学、2 個人で一斉水質調査を実施し、参加団体及び関連団体に早期にマップを配布、インターネット上（ホームページ、Facebook）で公開した。 ・ 2021 年度の調査結果を水質調査結果のグラフを表示するアプリ(Ar-WQ)に表示した。アプリは PC でもスマホでも利用できる（https://app.arakawa-ryuiki.net/wq/） ・ 本年度も特にアユの遡上調査を実施している入間川水系の調査に重点をおいた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>飯盛川・大谷川で採水した水の測定</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域一斉水質調査マップ 2021</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加団体は、地域の河川の経年変化を把握し活動につなげている。 ・ 結果をインターネット上で公開したので、関係者は早い時期に、結果を把握することができた。新たなアクセスにより多くの人に情報が伝わっていると考えられる。 ・ 「時系列グラフ付き水質調査マップ」の公開により、流域住民及び参加団体に貢献できた。 ・ マップの配布等により水質調査に興味をもつ現役世代による新たな参加があった。 		
苦勞した点 ・ 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーが取水地点に分散するので、調査地点での撮影に苦勞していると思われる。 ・ 河川環境の実態を把握し水質や構造物改善に向けた手立てを引き続き検討していく。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス禍の影響により配布が一部不可能となったためマップの印刷部数を 700 部に減らした。 ・ 水質調査実施日直近での参加希望の団体や今回台数が不足していた団体用に、次年度に向けて EC メーターを 4 台購入した。 		
最終助成決定額	185,150 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	上尾の自然を守る教職員の会	実施日	2021年4月4日、9月26日、10月24日 2022年1月9日
代表者	安孫子 繁子	活動場所	上尾市・川島町・川越市（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会		
活動目的	設立以来、他団体と協力し、三ツ又沼地域の調査・自然保全活動を続けている。その中で若い親子が汚い、怖い等を理由に自然離れをしている現状に危惧を抱いてきた。楽しく自然に接する体験を親子で持ってもらいたいと思い、自然塾と名付けて活動。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と接する体験を通して豊かな心を育み、なおかつ楽しみながら学べるイベントを実施した。 ・子どものみならず、大人にも自然を楽しんでもらえるような活動を行なった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾「土手で草つき、草遊び」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾「虫を知ろう」</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ヨシ焼きの準備</p> </div>		
活動の成果	・親子自然塾では昨年同様、若い親子が予想以上に参加してくれ、コロナ共生の時代、再び野外に関心が高まってきたことを感じた。		
苦勞した点 ・改善点	・観察が終わった後も、机を用意し、ルーペや顕微鏡等を使って細かい部分も観察したいが、どうしても時間的余裕とコロナ対策が出来ず躊躇してしまう。		
最終助成決定額	105,000円		

※活動完了報告書を元に作成

2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	実施日	2021年4月1日～2022年2月12日までの 月2回程度
代表者	木ノ内 勝平	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川／三ツ又沼ピ オトープ）
タイトル	三ツ又沼ピオトープの自然環境管理作業		
活動目的	貴重な自然環境の保全、保護と同時に育て増やす活動として地域の在来野草の種子からの育苗と移植活動にも力を入れる。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も台風による洪水によって激増した帰化植物を除去し、在来野草群落を回復するための除草を行った。 ・貴重な自然環境を保全するための外来種駆除、適度な草刈りによる草原の維持等。 ・培養土を会員に配り、各家庭で地域の在来種を栽培してもらった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>侵入した牧草の刈払い作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヨシ刈り、火入れ準備</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>貴重種エリアの火入れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>枯れた竹の粉碎</p> </div> </div>		
活動の成果	・竹林が枯れ、空いた土地に在来野草の種子から育てた苗の移植を随時実施し、希少種群落の保全に力を入れた。		
苦労した点 ・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の年齢が上がってきており、広い面積を効率よく管理するためには機械に頼らざるを得ない。そのため燃料費が年々増加し続けている。 ・数年来周囲のハチク林が枯死し、枯れた竹整理が課題。 ・昨年度採種したアマナなどの希少種群落の保全に力を入れたい。 		
特記事項	・一般参加者が減少し、機械に頼る作業が増加した。そのため、会員が刈り払い機の講習を受講した。		
最終助成決定額	170,000 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	埼玉県立いずみ高等学校	実施日	2021年11月17日、26日 2022年3月6日
代表者	小川 剛	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープ環境保全活動		
活動目的	荒川上流河川事務所、日本生態系協会、あらかわ市民環境サポーターの協力により、実践的な環境保全活動を体験すること。		
活動内容	<p>・生物サイエンス科では、2年生の「生態学基礎」の授業の一環として、ビオトープの環境保全活動に取り組み、外来種の駆除や在来草本植物の生態調査、希少植物の保全、外来生物の駆除活動などを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>湿地の土の掘り返し</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>竹の伐採、通路や境界の整備</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>野焼きについての説明</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行う講演会や在来植物の発芽率を促進する実験と野外の活動を結びつけ、より多面的に環境保護の方法について学習できた。 ・参加した生徒の中には、継続してボランティアに参加する者や、「課題研究」の授業で、現地の池に生息する外来生物のアカミミガメについて調査する生徒がいるなど、幅広い学習の機会を提供できた。 		
苦勞した点 ・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は今年度実施できなかった三ツ又沼の在来草本植物の発芽試験や発芽促進試験を地域のボランティア団体や荒川上流河川事務所と協力して実施したい。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの関係で、まん延防止措置等により、実施計画が変更・延期となり、3月6日までの実施となった。 		
最終助成決定額	185,130 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	高麗川ふるさとの会	実施日	2021年5月15日～2022年1月18日
代表者	三浦 輝夫	活動場所	坂戸市浅羽（高麗川／浅羽ビオトープ）
タイトル	清流高麗川プロジェクト		
活動目的	高麗川の良好な水辺環境を将来の子孫に引き継いでいくために、市民が一体となり、行政との協働の中で、環境保全活動を推進していくこと。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・刈り払い機を使用した草刈り ・水路・散策路の清掃 ・野鳥・植物の調査研究 ・外来種（シンジュ・アレチウリ・オオフサモ）の除去。 ・広報「こまがわニュース」（毎号 200 部、A3 両面）を年 3 回発行・発送。浅羽ビオトープ駐車場の掲示板にも活動予定日とあわせて掲示し、一般参加者を募集。 ・市役所ロビーにおいて会員が活動を通じて野鳥等を収めた写真の展示会 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>刈払い機を使用した作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外来植物オオフサモの除去</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>広報物の発送作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広報「高麗川ニュース」</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・浅羽ビオトープの水質浄化のため、坂戸市が購入した礫を水路に設置した。 ・子供たちから環境活動に参加したいという希望があり、桜小学校の総合学習に参加し、一緒にゴミ拾いを行った。 		
苦勞した点 ・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・作業参加者の高齢化に伴い、作業時間の短縮等、柔軟な対応の必要性を感じた。若い世代の新規加入者を増やす対策も考えたい。 		
最終助成決定額	163,000 円		



※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	実施日	毎月第 2・第 4 日曜日
代表者	久保田 慎三郎	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	外来種の駆除と環境美化活動・公園づくり		
活動目的	持続可能な社会を目指し自然の中で体験を交え環境保全の大切さを知ってもらえる環境学習を行うこと。それらを通じ、子供や地域の方との交流に繋げ、地域の活性と水辺から街づくりに貢献すること。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県の家ごみゼロウィークに 2 週参加。 ・ 水辺林の整備と周辺清掃を漁業組合や河川利用団体と協力しながら実施。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゴミ・資材の運搬用の軽トラック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水辺林周辺の草刈り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>拾ったゴミの分別作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>河原や公民館の掲示板に広報資料を掲示</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺林整備と周辺清掃を行う中で、海ごみゼロウィークとして活動をテレビ埼玉の取材を受け活動の様子が放映された。 ・ 環境保全の大切さを伝える環境活動として「みどりの(わ)交流の集い」都市の緑三賞に入選、表彰された。 		
苦勞した点 ・ 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症リスクを最小限に抑えて開催できるようにしっかりとした対策を立てること。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症による自粛、中止により活動が制限され予定したイベントが変更となった。 ・ 軽トラックは岸辺整備のごみや不法投棄家電、事業資材等の運搬に使用した。 		
最終助成決定額	133,293 円		




※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	実施日	2021 年 11 月 8 日
代表者	愛場 謙嗣	活動場所	鳩山町（唐沢川）
タイトル	鳩山町における自然環境調査保全活動		
活動目的	鳩山町の北東部は県立丘陵自然公園区域にあるなど自然豊かな山村部にあるが、公園内に大規模集合住宅（鳩山ニュータウン）が造成され、町内に 4 つのゴルフ場ができるなど、相次ぐ開発により自然・生活環境が大きく変化してきている。そうした自然・生活環境の変化を多面的に継続監視（モニタリング）することを通して、多様な生態系の再生とより安全な暮らしの確保に向けての基礎データを蓄積する。また、様々な環境保全活動の体験学習・講演会などを通してそれらの意義への理解を深めてもらう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開で得たゴルフ場での農薬散布計画書に基づき、今年度も昨年度と同様、採水直前に散布されたメタラキシル、ホセチル、シクロスルフアムロンの 3 成分の残留分析をおこなった。3 つの分析対象農薬成分は発がん性の疑いの濃いもの、および今年度に散布量が多かったものから選んだ。 ・ 計量分析結果を住民自治体広報誌に掲載した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>残留農薬計量証明書</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作成した展示パネル</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも検出限界以下の「0.001mg/リットル未満」だった。今回は一括分析できる 25 検体について有効数字の認められる流出はなかった。 		
苦勞した点 ・ 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留分析採水は散布実態からして、遅くとも 11 月中に実施するべきだが、鳩山町実施の検査採水が 12 月 22 日と遅れた。採水の遅れは実態把握に支障が出かねないため、当調査結果を根拠資料として採水時期の確保を町に要請した。 ・ 各ゴルフ場提出の計画書記載の散布農薬量・種類・散布時期と散布実績に大幅なずれがあり、実態を検証し、調査方法の改善と行政への改善提言にいかしたい。 		
最終助成決定額	79,940 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	NPO 法人 かわごえ里山イニシアチブ	実施日	2021 年 6 月 26 日、 2022 年 1 月 6 日、2 月 18 日
代表者	増田 純一	活動場所	川越市福岡（入間川流域）
タイトル	生きもの育む田んぼプロジェクト 2021		
活動目的	自然と調和し人と生きものにやさしい田んぼ活動を行い、誰もが安心・安全に暮らせる人と自然と生きものが共生できる環境豊かな里山づくり。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生きもの観察会を通して環境調査を行い、環境の大切さや水の浄化の大切さの普及を行った。 ・入間川から田んぼに水が入る途中のビオトープに、田んぼの中干し期の水確保のため井戸の水をくみ上げる給水ポンプを設置した。 ・農家と非農家（消費者）が連携して、農薬や化学肥料を一切河川に流さない農法（米作り・マコモ栽培）を実践し、田んぼの環境価値の普及・啓発活動を行った。 ・広報冊子・チラシを作製した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>生きもの観察会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生きもの観察会の様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>ビオトープの給水ポンプ設置工事</p> </div>		
活動の成果	・ビオトープはメダカやドジョウ、ナマズなどの生息域となっている。		
苦勞した点 ・改善点	・コロナ禍でのイベントのやり方を工夫していく必要がある。		
特記事項	・コロナ禍のために、講演会やイベントは自粛・縮小となり予定通り実施できなかった。		
最終助成決定額	72,786 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	SUN JOY 南小畔川	実施日	2021 年 4 月 21 日、5 月 12 日・16 日、6 月 9 日、9 月 20 日・21 日、10 月 15 日、11 月 14 日、2022 年 1 月 16 日
代表者	宮坂 厚郎	活動場所	川越市笠幡（南小畔川）
タイトル	アレチウリ駆除と、海プラごみ防止活動		
活動目的	日本古来の草花の保護活動、プラごみを海に流さない、水害対策。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来種アレチウリの駆除。 ・ 増水時に、水流を阻害しないためのクワノキ等の処理。 ・ 河川のプラごみを回収。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>アレチウリの駆除作業</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>刈り払い機による除草作業</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>クワノキの処理</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">  <p>プラごみの回収作業</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレチウリ駆除により一部に野草が生育するようになった。 		
苦勞した点 ・ 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若いメンバーが少なく、若手会員を増やす募集の方法を検討していく必要がある。 ・ アレチウリは駆除しても上流から種が流れて繁茂するので、他の地域との関わりが必要となる。 		
最終助成決定額	30,480 円		


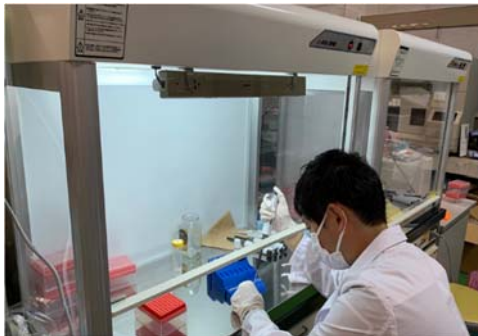

※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	狭山市立入間川小学校	実施日	2021年5月28日、7月14日、11月30日
代表者	新井 忠洋	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	ぼくたち、入間川探検隊！		
活動目的	コミュニティスクールとしての地域の協力や結びつきの強さを生かし、「総合的な学習の時間（ゆりの木学習）」を中心に、隣接する入間川で観察や自然体験を行い、入間川や地域の自然への愛着を育む。		
活動内容	<p>1. 入間川の自然観察・・・岩石調査（河原の岩石の形や大きさ、重さや見た目の違いで分類、図鑑調べ）、植物調査（生育する植物を実際に摘んで見て考える）、生息魚類調査（魚を捕獲。入間川がきれいになっていることを実感。）</p> <p>2. 入間川の水質検査・・・入間川の水質検査や地域清掃。</p> <p>3. 学習発表会・・・一年の学習の成果を保護者や地域の方に向けて発表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>岩石調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>魚類調査</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学習発表会</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは、入間川周辺の自然環境の観察や調査、体験活動を通して、自然環境と向き合い、自分で課題を見つけ探究することができた。また、自分の考えや思いを相手に的確に伝えようとする態度や能力を高めることができた。 ・学習を通して自分の故郷に誇りを持ち、豊かな環境の中に生活できる自分を見つめることができた。 		
苦勞した点 ・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全を守るために、雨や、気温、当日の入間川の水位に影響されやすい学習であることや、コロナ禍でボランティアを募集しての活動に制限を受けること。 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行のため、当初予定していた入間川でのカヌー体験や漁協の指導による地引網体験などの体験活動が未実施となった。 		
最終助成決定額	32,368 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	城西大学	実施日	2021 年 5 月 26 日～2022 年 2 月 15 日
代表者	藤野 陽三	活動場所	坂戸市、日高市、毛呂山町（高麗川支流や湧水路、葛川、越辺川支流）
タイトル	ホトケドジョウの生息地を環境 DNA で探る		
活動目的	<p>県のレッドデータブックで絶滅危惧 IA 類に指定されているホトケドジョウが城西大学近隣の湧水路で発見され、坂戸台地などからの湧水路には生息している可能性があるため、本種の生息可能性が高いと思われる地点を 20 か所選定し、環境 DNA 分析によって生息可能性を調査する。</p>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンタミネーションに十分に注意しながら、各地点で 1L 採水した。DNA の劣化を制御し研究室に搬送後、ろ過・DNA の抽出を行った。 ・抽出された DNA を鋳型に、ホトケドジョウの DNA を特異的に増幅するマーカーを用いてリアルタイム PCR 装置による在・不在の判定を行った。 ・採水地点の一部は、地元有志の方々とガサガサなどによる捕獲調査を行い、結果を突き合せた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>採水作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>実験室にて環境 DNA 検出実験作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採水後の捕獲調査</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元有志の方々と城西大学の教員、学生による「ホトケドジョウ調査会」が組織され、採水地点の選定、採水時に捕獲調査を行う（一部未実施）ことで、環境 DNA の分析結果と捕獲調査結果の比較ができた。 ・学術誌に投稿する論文を執筆中であり、来年度に学会で口頭発表を実施する予定。 ・調査結果を纏め、関係自治体などにホトケドジョウの生息する良質な環境を保全するための提言を行う予定である。 		
苦勞した点 ・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・希少種のためか、放出される環境 DNA 自体が極微量となるため、より検出感度を上げる工夫が今後必要となる。 		
最終助成決定額	200,000 円		

※活動完了報告書を元に作成

2021 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況

団体名	川島町立つばさ南小学校	実施日	2021年4月21日、6月30日、2022年1月18日、3月10日
代表者	新井 馨	活動場所	川島町（入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	大好き川島！～守ろう 川島の緑と水～		
活動目的	3年生の総合的な学習の時間に、「大好き川島！守ろう 川島の緑と水」というテーマを設定し、本町の境に位置する三ツ又沼ビオトープを活動拠点として、荒川の自然を守り育てる大切さを、学ぶこと。		
活動内容	<p>・在来の植物や生きものを学んだり、外来植物の駆除体験や本校で種から育てた植物の植え戻しなどの活動を日本生態系協会や荒川上流河川事務所、市民ボランティアの指導のもと行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域に見られる草花観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生きもの観察 (モツゴ、タモロコ、タイリクバラタナゴ、ミドリシジミの卵等)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハンノキプロジェクトについての学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学習発表会</p> </div> </div>		
活動の成果	・ハンノキの苗を育てることに力を入れた。三ツ又沼の自然を観察したり（ハンノキの植え戻しを含めて3回）、環境保全に関する知識・理解（在来種と外来種など）を深められたことができた。		
苦勞した点 ・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間数並びに交通手段（学校から現地までの距離）が、フィールドワークを積み重ねていくための大きな課題となっている。フィールドワーク内容（活動方法・活動時間）を検討する中で、郷土を愛する心を育みながらの継続的な取り組みを具現化したい。 ・感染防止の観点を踏まえながら、活動内容を保護者・地域へより発信していきたい。 		
特記事項	・2022年2月に予定していたまとめの会は講師の都合とハンノキの植え戻しの関係で3月に延期となった。		
最終助成決定額	78,900 円		

※活動完了報告書を元に作成

令和 4年 3月 5日

「武州・入間川プロジェクト」
入間川環境保全支援委員会事務局 殿

団体名：比企の川づくり協議会
代表者名：渡辺仁



2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成事業 助成金交付辞退届

交付決定を受けた2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成について、下記のとおり辞退します。

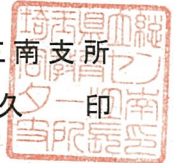
記

受付番号	202110
辞退理由	新型コロナウイルスの蔓延のため、打合せ、下見、会場の決定、講師との打合せなどができなかつたため、やむを得ず中止とした。そのため、助成金交付を辞退致します。

令和 4年 1月21日

「武州・入間川プロジェクト」
入間川環境保全支援委員会事務局 殿

団 体 名：埼玉県立総合教育センター江南支所
代 表 者 名：支 所 長 川 目 晴 久



2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成事業

助成金交付辞退届

交付決定を受けた2021年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成について、下記のとおり辞退します。

記

受付番号	2021-13
辞退理由	新型コロナウイルス感染症予防に伴い、密接・密集・密閉等を回避した運営が困難であった。また、県内の複数の高校から生徒が参加することで、感染拡大の可能性も有り、全ての日程を中止した。